

No. 184

令和2年4月発行



北塩原村 KITASHIOBARA

〒966-0485 北塩原村大字北山字姥ヶ作3151 ☎(0241)23-3263
HPアドレス <http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>

発行/北塩原村議会 編集/議会広報調査特別委員会

目次

令和2年度予算を可決！
(第2回定例会について) …… 2～6

第1回臨時会

池田議員の事件に対する謝罪について …… 7

ズバリ！村政を質す …… 8～17

議会活動報告 …… 18

議会だより

3月議会

さくら小学校



裏磐梯小学校



公有民営方式車両購入事業

裏磐梯喜多方間の路線バスを維持するために、公有民営方式で運行する車両の購入費用。国庫補助事業を活用しマイクロバスを2台購入する計画。



※現在使用中のコミュニティバスです。

裏磐梯観光施設再整備事業

(仮称) 裏磐梯多目的グラウンドの管理棟などを整備する事業。トイレ、ミーティングルームを兼ねた更衣室、倉庫を備えた施設になる計画。また、グラウンド周辺にフェンスも設置する計画。



温泉健康増進施設調査設計等事業

ラビスパ裏磐梯のプールゾーン天井の内外膜の交換工事と、付随する鉄骨の塗装工事の劣化調査および、交換工事の実施設計に係る費用。令和3年度に工事に着手する計画。



第2回 定例会

あらまし

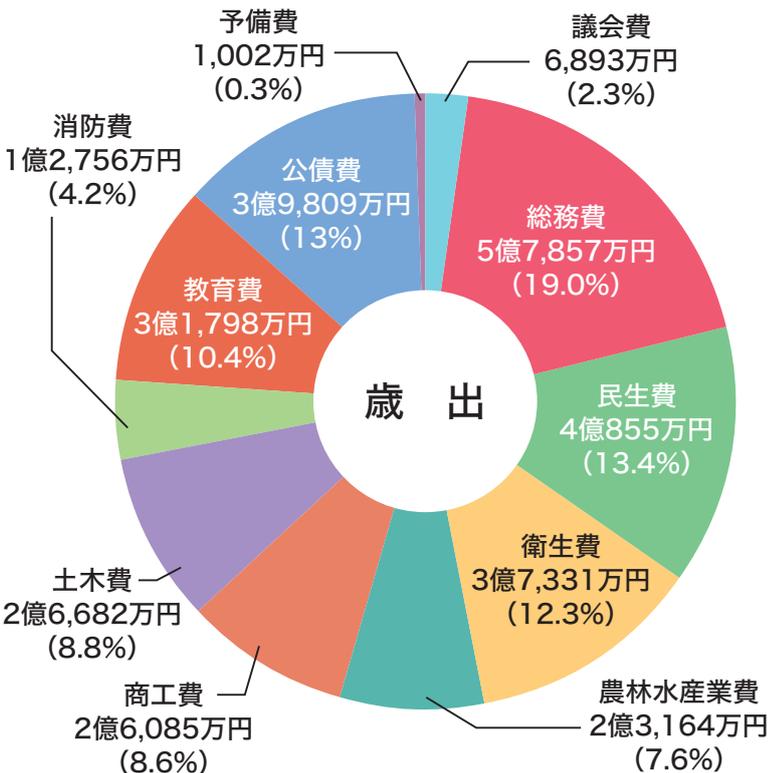
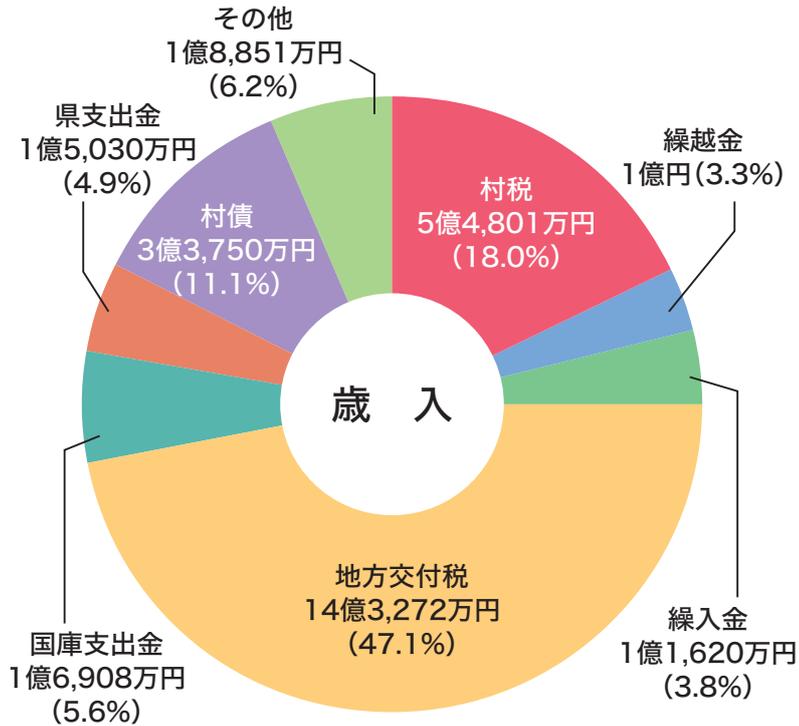
令和2年第2回定例会が3月6日から12日まで7日間の会期で行われた。1日目は村長から村政の報告と議案の提案理由、また各議案の説明が行われた。4日目から5日目まで合計9名の議員の一般質問が行われ村政を質した。6日目の午後から7日目の午前にかけて、各常任委員会に分かれて集中的に審議を行い、7日目の午後に合計18の議案（追加議案も含む）の質疑・討論・採決が行われ、原案18件と意見書1件が可決となった。

令和2年度当初予算を可決！

一般会計

総額 30億4,232万円

歳入予算では、村民税や軽自動車税、入湯税、地方交付税などで増額となる予算が計上された。村は国・県補助事業や有利な地方債の活用などにより、必要な財源の確保に努めたいとのことであった。



歳出予算は、第5次総合振興計画に關わる教育環境のICT化や、子育て環境の整備、農業対策や鳥獣被害対策、防災対策やオリンピック関連事業など、8つの政策分野に係る予算を編成し、一般会計当初予算は総額で30億4,232万円となり、前年度と比較して、3,760万円、1.3%の増となった。

第8回定例会の主な質疑

農業会社設立について

3月議会で提出された当初予算の中で、農業会社（公社）の運営方法について各議員より疑問の声が上がった。そのため、全員協議会を開いた結果、

- ・運営方法を再度検討する事とし、農業会社への出資5000万円を取り下げる。
- ・農業会社設立協議会補助金1200万円はそのまま計上する。

という形で予算案が修正され、審議の結果、令和2年度一般会計予算が可決した。

【問】佐藤善博議員

農業会社の運営について、役場職員をはりつけるのではなく山塩組合のように、独立していくべきであるが、考えを伺う。

【答】村長

前に農業公社となっていたものを会社ということに変更させていた。ただ、指導などすることはありますが、村の職員は関わることなく、運営していく形になるかと思えます。

【問】小椋元議員

農業会社について、荒れた土地、休んでいる土地、放棄地などを借上げて利用しようという趣旨だと思うが、そのような土地はどれぐらい把握できているのか。

【答】農林課長

会社の設立は、今後、高齢化や後継者不足のための受け皿としていくところが一番の目的です。耕作放棄地についても将来的には考えていく事となります。



地域おこし協力隊について

【問】蟹巻尚武議員

これまでの2名は、地域おこし協力隊として適正な業務内容であったか、また、次年度3名となるとの事で、1名200万円程度の費用で生活できるようなものになっているのか伺う。

【答】総務企画課長

協力隊の活動には、活動費、それから住宅についても村が協力し、任期中の生活が成り立つような設計になって



います。

なお、業務については、それぞれのキャリアを活かし活動を行っている状況です。

【問】蟹巻尚武議員

新たな3名募集について、どのようなキャリアの方を募集するのか。

【答】総務企画課長

移住定住の関係、観光振興の関係、そして、鳥獣被害対策のキャリアをお持ちの方です。

外部団体への各種補助等について

【問】 若林 幸子 議員
日本エコツアーリズム協会負担金5万について、なぜ村で負担しているのか。

【答】 商工観光課長
村としてもエコツアーリズムを推進するということ、村で加入しているためです。

【問】 池田 睦宏 議員
エコツアーリズム推進事業補助金について、審査は適切に行われているのか。

【答】 商工観光課長
商工観光課で内容を確認し窓口である農林課から県へ提出しています。審査は県で行われて、補助金の交付を受けております。

【問】 佐藤 善博 議員

森林環境交付金について、この目的と村の使用方法は適正であるか。また、他の団体でも使うことは可能なのか。

【答】 農林課長

この交付金のメニューが様々あり、学校では森林環境学習というところで活用しています。エコツアーリズム協会への補助については、県の事業に合致するということで、補助を受けています。

村の交流事業について

【問】 遠藤 祐一 議員

台湾から交流関係で受け入れ態勢の費用を村で負担していると聞いたが、次年度の事業予定はあるのか。また費用負担はどのようになっているか。

【答】 総務企画課長

今年度の草屯中学校の受け入れ事業について、村が負担したのは、スキー体験の活動経費のみでした。そのほかの費用は草屯中学校が負担しています。令和2年度に日程が決まった来村の計画はありません。



令和2年度一般会計当初予算案

反対討論

小椋 元 議員
ラビスパ事業に今後予算をつぎ込むことは全く無駄なことである。農業会社も、簡単に取り下げるような予算であるならこの予算案には反対である!!

賛成討論

佐藤 善博 議員 五十嵐 正典 議員
住民の健康増進、観光での誘客という点でラビスパは放すことができない。よって予算は成立させない。農業会社は村の農業を見据えたときに必要である。よってこの予算に賛成する!!

今後、耕作放棄地も、有害鳥獣もいっぱいになり、農地ではなくなってしまう。農業会社設立のための運営経費の賛成に議員の賛同をお願いする!!

賛成多数で可決!!

令和2年 第2回定例会 会議に付した議案と審議結果

議番	案号	件名	審議結果
議第2号	案号	北塩原村行政区設置条例の一部を改正する条例	原案可決
議第3号	案号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	//
議第4号	案号	固定資産評価審査委員会条例の一部を改正する条例	//
議第5号	案号	北塩原村道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	//
議第6号	案号	令和元年度北塩原村一般会計補正予算（第6号）	//
議第7号	案号	令和元年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計補正予算（第3号）	//
議第8号	案号	令和元年度北塩原村特定環境保全下水道事業特別会計補正予算（第1号）	//
議第9号	案号	令和元年度北塩原村介護保険事業特別会計補正予算（第3号）	//
議第10号	案号	令和元年度北塩原村後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	//
議第11号	案号	令和2年度北塩原村一般会計予算	//
議第12号	案号	令和2年度北塩原村国民健康保険事業費特別会計予算	//
議第13号	案号	令和2年度北塩原村簡易水道事業費特別会計予算	//
議第14号	案号	令和2年度北塩原村特定環境保全下水道事業特別会計予算	//
議第15号	案号	令和2年度北塩原村簡易排水施設事業特別会計予算	//
議第16号	案号	令和2年度北塩原村農業集落排水事業特別会計予算	//
議第17号	案号	令和2年度北塩原村介護保険事業特別会計予算	//
議第18号	案号	令和2年度北塩原村後期高齢者医療特別会計予算	//
意見第1号	書号	厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書	//

令和2年度 一般会計及び特別会計予算額

会計名	令和2年度予算	対前年度伸率
一般会計	30億4,232万円	1.3%増
国民健康保険事業費特別会計	3億5,923万円	1.6%増
簡易水道事業費特別会計	2億2,895万円	16.5%増
特定環境保全下水道事業特別会計	3億5,909万円	17.4%増
簡易排水施設事業特別会計	297万円	5.9%増
農業集落排水事業特別会計	5,413万円	16.8%増
介護保険事業特別会計	3億3,212万円	13.6%減
後期高齢者医療特別会計	3,032万円	9.5%増
合計	44億913万円	2.0%増

令和2年度 第一回臨時会

【議案】

村長等の給与及び旅費に関する条例の一部を改正する条例

【議案の内容】

2月に発生した公金紛失事案について、村長及び副村長の給与を減額するための条例改正案が提出された。減額は村長の給与703,000円の30%、副村長の給与563,000円の15%、3月分の給料を減額する。

【議決】

全員一致で可決

道路運送法違反による 池田睦宏議員逮捕について

◆令和2年2月20日に行われた臨時議会の開会前に、議場にて道路運送法違反で逮捕された池田睦宏議員に対し議長より内容の説明を求めた。

《内容の説明》

今回の件、報道等でお知りのとおり、私の道路運送法違反、白バス行為ということ、皆さまに大変ご迷惑をおかけしたこと、心からお詫び申し上げます。大変申し訳ございませんでした。

私の至らなさからこのような事態を招いたこと、深く反省をしております。

◆議長から出処進退についてどのように考えているか説明を求めた。

《内容説明》

今後の議会活動におきましては、失った信頼を取り戻せるよう、身を粉にして取り組んでいく所存でございます。

議会事務局 人事

◆令和2年度4月の人事異動により『日本で最も美しい村連合』事務局へ派遣していた佐藤康一氏が新たに事務局へ配属となり、4月1日に小掠眞議長より辞令交付を受け事務局長へ就任しました。



議会傍聴にお越しく下さい！

次回定例会は **6月5日** 開会予定です。

議会は皆様の生活に寄り添い、皆様の声を村へ反映する議決機関です。
村のこれからが見える議会傍聴にぜひ足をお運びください。

議会傍聴、議会だよりのお問い合わせは議会事務局まで。

TEL：(23) 3263 FAX：(25) 7358

HPアドレス：<http://www.vill.kitashiobara.fukushima.jp/gikai/>



(登壇順)

- 1 伊藤 敏 英 議員…………… 9ページ
○人口減少対策について
○特定地域づくり事業協同組合について
- 2 五十嵐 正 典 議員…………… 10ページ
○地域公共交通について
○村道北山-大塩線の道路について
○柏木城跡、歴史の道100選について
- 3 佐藤 善 博 議員…………… 11ページ
○行政区長が要望している内容及び対応について
- 4 小 椋 元 議員…………… 12ページ
○村長の政治姿勢について
○ラビスパ事業について
- 5 池田 睦 宏 議員…………… 13ページ
○新型コロナウイルスに関する村の対応について
○秋口から続く観光へのマイナスの影響について
○改訂版ハザードマップについて
○新年度の獣害対策への取り組み内容について
- 6 若林 幸 子 議員…………… 14ページ
○ふるさと納税の新たな取り組み、返礼品の見直しについて
○高齢ドライバーの運転免許自主返納について
○非常防災備蓄品について
○村の行事の見直しについて
○くまさん1号のこれからの活用について
- 7 伊 関 明 子 議員…………… 15ページ
○クマ、イノシシ等の対策について
○防災・減災について
○年度予算の根拠について
○議場の内容録画の配信について
- 8 蟹 巻 尚 武 議員…………… 16ページ
○村内学校、幼稚園の教育環境と安全対策について
○村内デイサービスセンター等、高齢者施設の環境について
○全村民始め村内への旅行者が新型コロナウイルスにおいて感染、発症した場合の対応策について
○大塩地区における廃業中の宿泊施設の再利用について
- 9 遠 藤 祐 一 議員…………… 17ページ
○公民館図書の利用について
○村長の任期満了に伴い政治姿勢について

ズバリ!!

村政を質す

全員が一般質問に立つ!

一般質問とは？

議員が村の行政全般について、事務の執行状況や将来の方針等についての所信や疑問を質すことで、報告や説明を求めることをいいます。

伊藤
敏英

Q. 宅地分譲や若者定住住宅の建設が進んでいないのはなぜか！

A. 様々な異論もあり見直しをしている。

人口減少対策について

問 人口減少に歯止めをかけるには、結婚していただくこと、出生率を高めること、若い人の流出を防ぐこと、移住者を増やすこと、安定した雇用場の確保することだろうと思いが考えを伺う。

答 村 長

第2期のまち・ひと・しごと総合戦略の中で対応していきたいと考えています。

問 第1期で掲げた、出合いの場の創出と結婚相談員の養成、相談体制の構築は達成できなかったが、引き続き取り組むべきであるが考えを伺う。

答 総務企画課長

会津地域課題解決推進会議の中の、婚活・結婚の問題で、共同して進めていく考えです。

問 妊婦や乳幼児のいる夫婦の不安や悩みを解消するために、悩みを共有したり、相談できるようなサロンの設置など、安心して出産・子育てのできる環境をつくるのが、出生率を高める要因となると思いが考えを伺う。

答 住民課長

相談できる体制を作ってきたが、ご指摘いただいたところを踏まえ、検討してまいります。

特定地域づくり事業 協同組合について

問 特定地域づくり事業協同組合について、若者の流出を防止し、人口減少に歯止めをかける考えを伺う。

答 総務企画課長

法律の施行前で詳細はこれからですが、村

の現状に合う仕組みだと考えています。

問 運営費の一部を公費で支援してもらえらる事や、各種保障、年間400万円ぐらいの給与を想定しているとのことと若者の流出を防ぐ手段になるのかどうか。

答 村 長

若い人のニーズや、農業公社の立ち上げ、国の制度などを使いながら働く場所の確保をしていきたいと考えております。

問 人口減少対策で一番即効性のあるのは、宅地分譲や若者定住住宅により移住者を呼び込むことだと思いが、何年もこの計画が実現できない、村長の考えを伺う。

答 村 長

今の若者の希望なども考えながら基本設計

し、土地の買収もしましたが、造成費が高いなど異論もあり、見直しをかけている状況です。

問 役場には、今、何人の職員がいるのか。村外から来ている職員は何人いるか伺う。

答 総務企画課長

現在、職員数は63名で、村内に住所を有する職員が30名、村外が33名です。

問 役場の村外の職員について、移住を強要することはできないが、職員住宅や村営住宅が空いた場合に勧誘することはできないのか。

答 副村長

そのような形で村に住んでもらうという取り組みは必要だと思いが、進めていきたいと考えています。

Q. デマンドバス導入の実証を 行うべきである！

A. 公共交通の計画に盛り込まれれば 検討していきたい。



五十嵐 正典

地域公共交通について

問 地域公共交通検討委員会開催の結果を伺う。

答 総務企画課長

2月7日に法律に基づく法定協議会として設立しました。公共交通の現状と課題、アンケート調査の結果の報告、地域公共交通網形成計画の素案について、説明、協議を行いました。

問 村がバスを貸すのに運行委託費が昨年と同額なのはおかしくないか、バス2台分の車両費を差し引いた金額が、この委託費に出ているのではないか。

答 総務企画課長

今までの路線バスを維持してもらおう負担は同じ、そして、さらに路線を維持するための支援策として公有民営

方式でバスを導入するということです。

問 大塩―北山線では、喜多方で路線バスに乗り継ぎがあり、不便だという声もある。高齢者の事故や、免許証返納の観点からも、デマンドバスにすべきであるが考えを伺う。

答 総務企画課長

デマンド方式には、いろんな形があります。が、予約型だと、運行がない場合も受付業務のコストも発生し、また、グループタクシーやタクシーチケット導入でも、1人当たりのコストが一番課題だと思います。

村道北山―大塩線の道路について

問 県の代行工事であるが、今後の予定を伺う。

答 建設課長

林道北塩原磐梯線までの残りの約1800メートルは現在120メートルの改良工事を実施しており、引き続き65・5メートルの改良工事を計画しています。村でも用地買収を進め、早期に進むよう、強く要望していきます。

問 用地買収はどれくらい残っているのか。

また、出来たばかりなのに、事故が相次ぐなど問題山積みである。冬期間どのような対策をするのか。

答 建設課長

用地買収は合わせて16件です。また、冬期にむけ、村としても看板や融雪剤など設置しておくなど安全確保に努め、県と一緒に進めていきたいと思えます。

柏木城跡、歴史の道100選について

問 発掘調査及び文化財指定に向けての進捗状況、また今後の予定を伺う。

答 公民館長

発掘調査が終わり、結果と文献や研究者の知見等をもとに報告書を作成し、国や県の指導、助言をいただきながら地権者等を精査する作業に入る状況です。

問 歴史の道100選に選定されたが、今後の整備、活用方法を伺う。

答 公民館長

専門家や有識者の助言等をいただきながら、歴史的な価値を損ねないような整備、活用に努めてまいります。

佐藤
善博

**Q. 『検討する』という言葉ではなく
住民がわかりやすい言葉で回答すべき！**

**A. わかりやすい方法で
回答をしていきます。**

**行政区長が要望している
内容及び対応について**

問 継続要望している案件に対し「検討」の回答が多い理由は何か伺う。

答 総務企画課長

道路関係の要望では、補助事業や起債が活用できないため、村単独事業になってしまうことが理由の一つであります。

問 裏磐梯で有害鳥獣被害についての要望に対し、自主防衛や専門家の意見を聞いて対策などでは遅いのではないか。事故が起きているのだから村が早急に進めるべきである。

答 農林課長

要望にありました電柵等の補助については準備を進めております。村だけで対策は難しいので地域ぐるみで協力いただきたいと回答させていただきました。

問 小中学校の学校林について、学校だけでは伐採できないために要望が上がっているが進捗を伺う。

答 教育課長

要望のありましたときに、一度、学校と共に営林署へお話をさせていただきました。その際、保安林に指定されてお色々な制約があるため、手続きを行うことからこの事でした。



問 同じ要望をしているにも関わらず、行政区によってまちまちな回答をしているが、その理由はなにか伺う。

答 総務企画課長

同じ内容であっても、事業量や工法、当該施設の周辺の状況など、地区ごとに異なるためかと思われれます。

問 消火栓の移動について、北山地区には消防団と協議してまいりますと回答をし、裏磐梯地区へは、まず消防団に協議していただきとなっているがなぜか。

答 住民課長

現場を確認し、消防団とお話をさせていただきました。そして、区長から相談があった場合に協議を行っていただくよう進めておりました。今後、適切に回答していきたいと思います。

問 令和2年度の予算にはどのぐらい要望の内容は反映されているのか伺う。

答 総務企画課長

要望に対する事業として、農業費、農道費、消防費で約2000万円を計上させていただきました。



**Q. ラビスパにお金をかけるのならば
責任感を持って村長を続けるべき！**

**A. 大事な公共施設なので、
修繕をしながら維持していく。**



**小
原
元**

**村長の政治姿勢に
ついて**

問 昨年6月に出馬の考えがあるかどうかを尋ねたところ、後援会や支援者のご理解、ご協力があれば、前向きに検討したいという答えであった。現在の考えを伺う。

答 村 長

今の段階では、時期尚早ということ、この前申し上げたとおり、今後さらに後援会の皆さまと相談をしながら、前向きに検討してまいりたいと思います。任期の限り一生懸命頑張るつもりであります。どうぞよろしくお願いを申し上げます。

問 後援会や支援者、それらの人たちの話し合いはあったのか。

答 村 長

数回にわたり、相談をしてきたところです。今、村の信用失墜しかけておりますので、この辺を見極めながら、さらには、後援会の皆様と、さらに意見を交わしながら、前向きに検討したいということであります。

ラビスパ事業について

問 今年までの毎年の管理費、修繕費等、合わせていくらになるのか伺う。

答 総務企画課長

施設の管理、修繕費等については、平成16年度から平成30年度まで、15年間の修繕費といたしまして、約3億7800万円です。

問 今後の修繕計画で、さらに14億3200万円かかると思われるが、今まで黒字になっていたのは2回だけでこれからさらに、金をかけるといのはどういう計画なのか伺う。

答 総務企画課長

長寿命化を全て行おうとすれば、14億円程度が発生するというところで、今後は、個々の設備やコンディションを見ながら、実施を検討し、平準化していく考えです。

問 今後のラビスパ事業についての考えを伺う。

答 総務企画課長

令和2年度にプールゾーンの鉄骨部分の劣化調査、それから、鉄骨の塗装と天井膜交換工事の実設計、そして、基本計画の策定、検討委員会の設置を計画しています。令和3年度にプールゾーンの

工事を実施する計画です。

問 この事業はやめろべきと考えるが、今後、あとこの15億円以上もかけて、またリニューアルしてやるのか、再度伺う。

答 村 長

村民の雇用はもちろん、健康増進に使っていただき、中学校でもプールを活用してもらっているということで、ほかにはない施設だと思っておりますので、なるべく経費は削減し、存続してまいりたいと考えております。



池田 睦宏



**Q. 安心して観光が楽しめる裏磐梯を
明確に打ち出していくべき！**

**A. 国や県と情報共有をしながら
皆様の意見を聞き進めていきたい。**

**新型コロナウイルスに
関する村の対応について**

問 旅行者を含め村民や観光業者への対応について、どのような予防教育がなされているのかを伺う。

答 住民課長

2月3日に、村長を本部長とする感染症対策本部を設置し、相談窓口やホームページを設けるとともに、先月末に啓発チラシを各世帯や観光事業者に送付しました。

問 マスク等の備品もあるというふうに聞いているが、どのぐらいの量があるのか伺う。

答 住民課長

マスクは総数28,000枚あり、3月、4月に各学校で合わせて1,200枚ほど使っております。

問 マスクは十分な備蓄があると考えているが、

最低限は残しつつも余裕がある分について村民に配布出来ないだろうか。

答 住民課長

災害備蓄品については、非常時のための物なので状況を見ながら活用すべきと考えております。

問 今後予想される観光産業への影響と対策について伺う。

答 商工観光課長

観光客の減少により、当村の経済活動が停滞することを懸念しており、施設も含めて感染者を出さないことが重要ですので、注意喚起や感染予防策を周知徹底してまいります。

**秋口から続く観光への
マイナスの影響について**

問 観光シーズンに猛威をふるった台風19号の観光被害の把握とそ

の対応について伺う。

答 商工観光課長

当村の直接の被害はありませんでしたが、昨年10月の観光宿泊客数は前年同月比で92.2%でした。村では国の支援事業の活用を周知してきました。

問 この冬の暖冬の影響についての状況の把握とその対応について伺う。

答 商工観光課長

村では、令和元年度で終了予定であったプレミアム付き商品券事業を、次年度にも規模を拡大して実施する計画であります。今後、国の動向も注視しながら、村としてできる限りの対応を考えています。

**改訂版ハザード
マップについて**

問 マップに反映される情報とは、どこまで

を示すのか、その範囲を伺う。

答 住民課長

火山対策、風水害対策、防災機能のほか、AED機器や観光防災Wi-Fi設備、公衆トイレ、消火栓などを表示するなど、防災情報を網羅したい考えです。

**新年度の獣害対策への
取り組み内容について**

問 ゴールデンウィークの観光シーズン前に、村民への注意喚起を行うのか伺う。

答 農林課長

積極的に住民と話し合いながら、村広報紙やホームページを活用した情報発信、実施隊と連携した巡回活動、捕獲活動などの強化に努めてまいります。

Q. 備蓄した食料を防災教育にも活用すべきである！

A. 教育現場でも活用できるよう検討していく。



若林 幸子

ふるさと納税の新たな取り組み、返礼品の見直しについて

問 農業と観光の村であり、特色のある商品を検討すべきと考えるが、村の考えを伺う。

答 総務企画課長

これまで平成26年度から見直しを行ってまいりました。令和元年度には、季節限定として、高原野菜とスキー場のリフト券を追加しております。今後、村ならではの返礼品の追加について継続して取り組んでいきます。

問 農産物が多いが、宿泊券については検討したのか。なぜリフト券になったのか伺う。

答 総務企画課長

宿泊券の運用していく仕組みが必要になり、この辺りをどのように構築するかということ

で、時間を要しているところですが。

高齢ドライバーの運転免許自主返納について

問 村として運転免許自主返納後の支援はあるのか伺う。

答 住民課長

運転免許自主返納施策としてはごさいませんが、自家用車による移動手段の支援策として、村民バス利用券事業を実施しています。

問 他の自治体では自主返納した方には商品券やデマンドバスの回数券とタクシートの助成券を行うなど11町村が、補助を行っているようですが、当村でも返納できない方たちの声を聞いて対策を行うべきだが考えを伺う。

答 住民課長

いろいろな情報を得ながら、近隣自治体のよい事例とかも学びながら、考えていきたいと思っています。

非常防災備蓄品について

問 備蓄品の期限をよくチェックし、備蓄品の内容等を検討しているか伺う。

答 住民課長

村では、避難物資のほか、常食なども備蓄し、使用期限についても管理しています。

村の行事の見直しについて

問 削減するところや、継続するところ、増やすところをもう一度よく見直し、考え、予算を決めるべきと思うが、考えを伺う。

答 公民館長

村内のイベントは各実行委員会で検証作業が行われており、費用対効果や参加者の声などを踏まえまして、次年度の計画につなげていくことが必要と考えております。

くまさん1号のこれから活用について

問 くまさん号は、当村観光地のPRにかかせなく、大切なものがあり、今後、どのような活用法を考え、実行しようとしているのか伺う。

答 総務企画課長

村では、保存する方法を検討してきましたが、計画の具体化には至っていません。計画を見直し、今後、議会と協議していきたいと考えています。

伊関 明子



**Q. 松原・裏磐梯にも
予備電源の配備を行うべきである！**

**A. 安全管理対策を講じ配備できるよう
進めたい。**

**クマ、イノシシ等の
対策について**

問 情報のまとめ方、発信の仕方の現状と改善について伺う。

答 農林課長

情報を農林課に集約し、人的被害のおそれがある場合、防災無線にて注意喚起を行い、現場確認、巡回を行っています。改善点としては、情報の見える化が必要と考えており、地図への落とし込み、出没傾向の把握と周知を行うっていく必要があると考えています。

問 国立公園内での可能な伐採等と雇用について伺う。

答 農林課長

住宅と森林の間の緩衝帯の伐採が有効とされていますが、国立公園内では環境省に確認が必要になるかと思

ます。雇用については住民が企業に依頼すれば雇用も生まれるかと考えます。

問 各課、団体との連携について伺う。

答 農林課長

鳥獣被害対策実施隊や関係機関との情報共有を図り、各課、団体との連携確認、強化に努めることにより、鳥獣被害の軽減に取り組んでいます。

防災・減災について

問 松原・裏磐梯方面は停電が心配であり倒木などで停電した場合の対策として、予備電源が必要と考えるが、どうなっているか。

答 住民課長

持ち運び可能な予備電源は、役場で3台所有しており、本庁にて管理しています。照明

等の用途を想定しています。

年度予算の根拠について

問 今の村の課題と予算の内容は合っているのか。ズレがあるとしたらその原因は何なのか伺う。

答 総務企画課長

国の動向等を踏まえながら、村の実情に合った当初予算の編成方針を定めており、各課で、各団体からの要望事項を踏まえ、当初予算の原案を策定しています。

問 本当に要望していることが、ずれがあるのではないか。すぎるのではないかと私たち村民にわかりやすく説明していただけますか。

答 総務企画課長

限られた予算で、全てに應えることはできませんので、村全体と

して優先順位を付けながら事業を選択していくというのが実情でございます。

**議場の内容録画の
配信について**

問 議会の様子を村のホームページ等で配信し、村民の議会への関心も高まり、次世代議員への流れも作れると思うがどの様に考えるか。

答 総務企画課長

まず議会で意思決定が行われるということになるかと思えます。その後、予算要求がされた場合に、村として検討していく内容であると考えております。

Q. 学校再開時の安全対策は 十分整っているか！

A. 消毒、うがい、除菌を実施し
安全を確保していく。



蟹巻 尚武

村内学校、幼稚園の教育 環境と安全対策について

問 世界的規模で広がる新型コロナウイルスから、学童、園児、そして先生、皆さん方を守る対策は講じるべきであるが考えを伺う。

答 教育課長

3月4日から3月23日までの間、村立小中学校を臨時休業とし、その後春休みとなり、実質4月5日まで休業となります。普段の対策として、各所に手指消毒液の配置、弱酸性次亜塩素酸水を利用した加湿器を設置するなど、感染防止対策を行っています。

問 学校、園へ侵入する不審者等から、学童、生徒、園児を守る対策は講じているか伺う。

答 教育課長

安全教育は、常日頃

行っており、毎年度防犯教室などを開催し、訓練しております。また、各校に防犯カメラやサスマタを配備して対策を取っており、夜間などの無人となる場合は、機械警備で対応しております。

問 教育環境の向上のため教育にかかる備品設備は万全であるか伺う。

答 教育課長

昨年に各校の教室や職員室などに冷房設備を設置いたしました。また、年次計画により、各校舎等の改修も行っています。教育にかかるとは、備品は学校と協議の上、支障のないよう整備しています。

村内デイサービスセンター等、高齢者施設の環境について

問 高齢者への新型コ

ロナウイルス感染対策を講じるべきと考えるが、関係機関との連携による対策は考えているか、また、既に対応しているなら、どのようなものか伺う。

答 住民課長

対策本部を設置し、高齢者施設等に対し注意喚起を行っております。また、施設から相談等にも応じてきました。引き続き動向に注意しながら、周知徹底を図って行きたいと思っております。

全村民始め村内への旅行者が新型コロナウイルスにおいて感染、発症した場合の対応策について

問 村民はじめ、旅行者が新型コロナウイルスに感染、発症した場合の対応策について伺う。

答 住民課長

村民もしくは旅行者が感染、発症した場合、福島県が管理しているため、連携をとりながら対応してまいります。感染拡大の状況を注視しながら、対応策等についても各施設に掲出するなど、備えていきたいと考えております。

大塩地区における廃業中の宿泊施設の再利用について

問 当該施設について地域住民から、集会所等への再利用をしてほしい旨の、強力な要望を数年にわたり村に提出してきたがその後の進捗を伺う。

答 総務企画課長

所有者や権利関係に大きな動きはありませんので、村としてもこれ以上進めることができない状況でございます。

遠藤 祐一



Q. 村の問題や町村会長など重責を担っている以上責任をもってやるべき！

A. 今ある課題を一つずつ解決し、対応を考えていきたい。

公民館図書の利用について

問 図書室管理はどのようなになっているのか伺う。

答 公民館長

図書室の機能を持った施設は、村内に4施設あり、管理は、公民館で年に数回、図書の入替えを行っています。貸し出し等は、それぞれ施設に対応を依頼しております。

問 村の4ヶ所における図書室利用者数について伺う。

答 公民館長

平成30年度の図書の貸し出し簿で利用者の集計をした結果、構造改善センターは5名、生涯学習センターは132名、松原出張所は10名、自然環境活用センターは8名となっております。

問 地域住民にとって

環境が整っていると感じているのか伺う。

答 公民館長

環境は十分とはいえないものと認識しております。しかし、専門性や話題性の高い図書を提供し、利用者から好評を得ております。今後とも一人でも多くの方々にご利用いただけるよう努力してまいります。

問 読書は語学力を高め、あるいは見聞を養えると考えている。そのためにも、環境づくりが、大事と考えるが、その4ヶ所の現状を伺う。

答 公民館長

年の入れ替えについては、1年と2年の間では、あまり頻繁に入れ替え等が行われなかつたと反省しています。

問 実際、裏磐梯の自活センターでは、何人も借りていない状況な

ので中学校の図書室図書館を利用できるようにしたり、松原の湖望の湯のところでも工夫が必要と思うが考えを伺う。

答 教育長

学校図書館の利用も案内しておりますが、なかなか一般村民の方が校内に入るのに抵抗が少しあるような気がします。こちら側からの発信をもう少し、学校とともにしっかりとしていく必要があると考えています。

問 公民館ではどのぐらいの補充しているのか伺う。

答 公民館長

令和元年度は、約200冊です。

問 現状のままでは裏磐梯と松原には必要なのかどうか、例えば安い文庫本を揃えたり、住民が興味をひくような本を取り揃えてなど、

別な方法を考えるべきではないか。

答 教育長

これからいろいろ協議を進めて、コミュニティ図書館的な要素の実現に一步でも近づきたいと思っております。

村長の任期満了に伴い政治姿勢について

問 前回質問した際、明確な答弁が得られなかったため、再度質問させてもらうが、再選に向けた村民支持者の声が多く、また全国、県の町村会の重責を担う立場であるが、今後の政治姿勢について伺う。

答 村長

今おかれている境遇において、自己の最善を尽しスピード感を持って対応してまいりたいと考えておりますのでよろしくお願い申し上げます。

村議会議員活動記録

○議会事務局へ来た日数の集計となります。ただし、集計には定例会、臨時会、全員協議会他、全員での議員活動、委員会、イベント等も含まれています。

令和元年6月17日～令和2年3月31日

議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
	池田睦宏 議員	伊関明子 議員	伊藤敏英 議員	蟹巻尚武 議員	遠藤祐一 議員	小椋元 議員	若林幸子 議員	佐藤善博 議員	五十嵐正典 副議長	小椋眞 議長
令和元年 6月	2	4	2	2	3	2	2	4	4	5
7月	7	7	7	5	7	6	1	6	6	15
8月	8	5	5	7	6	8	5	12	8	14
9月	8	9	10	10	9	10	9	11	9	16
10月	6	6	9	8	11	3	8	6	8	16
11月	2	6	5	4	5	4	6	5	5	14
12月	5	5	5	5	6	4	7	7	6	10
令和2年 1月	7	4	6	3	7	4	7	6	6	13
2月	1	5	5	5	7	4	6	7	7	14
3月	7	5	5	6	8	10	5	7	8	9
合計	53	56	59	55	69	55	56	71	67	126

小学校入学式

4月6日、さくら小学校、裏磐梯小学校で入学式が行われました。各学校では新型コロナウイルス感染症対策を行いながら、拡大を防止するため、規模を縮小しての実施となりました。

新入生のみんなは新しい学校生活への期待に胸をふくらませ、名前を呼ばれると大きな声で返事をしました。



編集委員

委員長	伊藤敏英
副委員長	若林幸子
委員	遠藤祐一
委員	池田睦宏
委員	小椋眞

編集後記

陽春の候、皆様におかれましては益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。

さて、新型コロナウイルスは猛威を振るい、各所に甚大な影響を及ぼしております。

広報委員会でも議会広報を通じて皆様と情報交換を行いながら、この難局に共に立ち向かっていきたいと考えておりますので、皆様の忌憚らない声をお聞かせください。

委員一同